

平成31年度事業計画書

公益目的事業

1. 講演会等の普及啓発

(1) 五井平和財団フォーラム2019開催

開催日 平成31年11月23日(土・祝) 予定

場 所 東京都千代田区 日経ホール

参加予定者 約600名

(2) 講演会の開催

「講演会シリーズ：21世紀の価値観」

・東京・地方で年3回開催 対象は賛助会員および一般 各約200名

・特別講演会 9月開催予定

共催：カザフスタン初代大統領財団、カザフスタン大使館

核実験の影響で生まれつき両腕のないカザフスタンの画家カリプベク・クユコフ氏の講演会ならびに展覧会

(3) Living New ワークショップ

対象は賛助会員および一般

・単発ワークショップ年3回開催

・コース型ワークショップ年2回開催(全4回)

(4) オンラインを活用したリーダーシップ・トレーニングの企画立案

ServiceSpace 提供の Laddership Circles の受講ならびに日本語化

(5) 賛助会員との交流及び活性化事業

①五井平和財団会員総会開催

財団設立20周年記念として31年度は年2回開催

対象は賛助会員および一般 約300名

本年度開催予定地 東京都内および関西地区

②地方懇談会の開催

年8回開催 対象は賛助会員および一般

開催予定 山口県、愛媛県

新潟県、山形県他

参加予定者 各地約30名

③ボランティア活動

コミュニケーターの活性化 財団活動の広報・普及

コミュニケーター研修会

新しい文明を生きるプロジェクト(仮)

(6) 国際交流事業

①国連、ユネスコ、各種国際機関および駐日大使館との交流事業

②海外民間団体等との交流事業

- ・ブダペストクラブ
- ・国際自然保護連合 (IUCN)
- ・バイオニアーズ (Bioneers)
- ・カザフスタン初代大統領財団 (1. (2) 特別講演会参照)
- ・モハメッド六世環境保護財団 (モロッコ)

持続可能な開発のための教育 (ESD) における平和教育ならびに環境教育促進のための共同プロジェクト

- ノウハウの相互提供
- 教育教材の共同開発
- 両国の学校間交流など

③ヨーロッパ拠点活動

ヨーロッパ事務所 (ミュンヘン) における財団事業の展開

④姉妹団体活動協力

- May Peace Prevail On Earth International (米国の非営利法人) の日本窓口(*ワールド・ピース・プレーヤー・ソサエティから改称)
- 日本語ウェブサイトおよびメールマガジン等による情報発信
<http://www.worldpeace-org.jp>
- 7 Million Actions and Prayers

目的: 世界平和を推進する個人・団体をつなぎ 700 万人のネットワーク構築を目指す

内容: 対象となる国の長所や課題、支援活動等を当事者から語ってもらい理解を深める「まなび」、その国を含めた世界 191 カ国に平和のメッセージを贈る「ギフト」、対話を通じて参加者同士の共感、プロジェクトの協働等を促す「つなぐ」の3部構成のプログラム

⑤東京オリンピック・パラリンピック関連平和活動

- ・ポスター・コンテスト
- ・ピースメッセージ・ピースドール配布ほか

(7) 「富士宣言」推進 (パートナー組織および事務局として)

① 「富士宣言」ワークショップ (政治、経済、ビジネス、教育、科学、医療、文化、宗教、メディア等の分野)

日 時 未定

内 容 「富士宣言」にある価値観・世界観を様々な分野で体現するための「共創の場」づくり

② 「富士宣言」パートナー団体との共催事業

■ コンシヤス・ビジネス・アライアンス

共催：ブダペスト・クラブ、ヒューマニティズ・チーム、ケース・ウェスタン・リザーブ大学

目的：新しいビジネス・パラダイムを模索するビジネス・リーダーたちと連携し、自然環境の保全と人類の幸福の拡大を図りつつ、経済的繁栄を達成する新しいビジネス・モデルの創造

内容：コンシヤス・ビジネス・デklarレーションの推進、コンシヤス・ビジネス・デーの制定・促進、コンシヤス・ビジネス認証

■ ソウル・オブ・ウィメン・グローバル・キャンペーン

・女性の会（国内） 定期開催

③ ウェブによる推進

- ・ウェブ上で賛同者ネットワークの拡大、イニシアティブの推進を継続的に展開
- ・富士宣言賛同者による寄稿

<http://fujideclaration.org/>

(8) 各種情報媒体の活用

①機関誌「平和の創造」および「MPPOE ニュース」発行

季刊 各約5,000部作成と発送

活動報告、新しい方向性、発信すべき情報等を掲載

②インターネット

ウェブサイト <http://www.goipeace.or.jp>

メールマガジン「平和の創造」（日本語）、「Goi Peace News」（英語）発刊

ソーシャルメディア（フェイスブック、ツイッター、ユーストリーム等）活用

YouTube 公式チャンネル（日英）

③各種行事のDVD制作

DVDおよびホームページ動画

④パンフレット等

財団紹介パンフレット（日英）

既存パンフレット等の有効活用

⑤財団設立20周年記念 活動レポート作成（日英）

2. 五井平和賞顕彰事業

(1) 2019年度五井平和賞

■趣旨

教育、科学（人文・自然）、文化および芸術の分野で世界平和に資する活動・研究を行い、その方向性において全てとの調和を中心に据えた人類社会の招来という五井平和財団の理想と一致した個人または団体に授賞

■授賞式 平成31年11月開催予定の2019年度五井平和財団フォーラムで実施

■選考委員

(委員長) 佐藤 禎一	東京国立博物館名誉館長 元国際連合教育科学文化機関日本政府代表部特命全権大使 (当財団顧問)
明石 康	公益財団法人国際文化会館理事長、元国連事務次長 (当財団理事)
有馬 朗人	公益財団法人日本科学技術振興財団会長 東京大学名誉教授、元文部大臣
近衛 忠輝	日本赤十字社社長、国際赤十字・赤新月社連盟会長
西園寺昌美	公益財団法人五井平和財団会長
田坂 広志	多摩大学大学院教授、シンクタンク・ソフィアバンク代表
村上 和雄	公益財団法人国際科学振興財団理事・バイオ研究所長 筑波大学名誉教授 (当財団理事)

(2) 若者を対象とした平和賞の企画立案

■趣旨

教育、科学（人文・自然）、文化および芸術の分野で、日本において世界平和に資する活動・研究に取り組む若者を顕彰することでエンパワーすると共に、次世代のネットワークを構築する

3. 研究会等の調査研究

■平和科学調査研究会

年2回開催

幸せの価値観、新しい社会モデル、科学的事例調査各分科会による活動
自由研究、平和へのシナリオ、数学、生命憲章と科学思想についての調査研究

新しい文明に向けた価値観の共有

「つながり」を共通テーマとした「富士宣言」に関するリサーチ

4. 国際交流プロジェクト

- (1) 群馬県立女子大学連携講座「国際理解と平和」
平和について考える大使リレー講座
通期火曜日 計13～14回開催
講師予定者（未定）：駐日大使や外交官、国際NPO職員らを予定
- (2) 駐日外交官による交流プロジェクト
各国駐日大使館と日本の学校・教育機関との交流支援

5. 2019年度 国際ユース作文コンテスト

ユネスコ・持続可能な開発のための教育（ESD）に関するグローバル・アクション・プログラム推進事業として実施

- テーマ **『優しさがあふれる社会をつくる』**
- 応募資格 子どもの部（小学生・中学生）、若者の部（高校1年生から25歳まで）
- 応募締切 平成31年6月15日（土）必着
- 各賞 文部科学大臣賞／各部門1点
その他優秀賞、入選、佳作、学校特別賞（該当校がある場合）
- 授賞式 平成31年11月開催予定の五井平和財団フォーラム2019で実施
- 選考委員
(委員長) 千 玄室 茶道裏千家前家元（当財団理事）
西園寺昌美 公益財団法人五井平和財団会長
都倉 俊一 作曲家、一般社団法人日本音楽著作権協会特別顧問
成田 純治 株式会社博報堂取締役相談役（当財団理事）
服部 真二 セイコーホールディングス株式会社代表取締役会長兼
グループCEO
松浦晃一郎 一般社団法人アフリカ協会理事長、前ユネスコ事務局長
美内すずえ 漫画家
矢崎 和彦 株式会社フェリシモ代表取締役社長
葉 祥明 絵本作家
- 主催 公益財団法人五井平和財団
- 後援 文部科学省、日本ユネスコ国内委員会、日本私立中学高等学校連合会、
東京都教育委員会、NHK、日本経済新聞社
- 協賛 セイコーホールディングス株式会社、プラス株式会社

設立20周年特別企画

国際ユース作文コンテスト受賞者間のウェビナーによる交流プログラム

6. 地球っ子広場

- 活動趣旨 子どもたちが放課後や休日に、広く社会と触れ合える居場所を創設し、保護者、地域の人々が集う、良き地域コミュニティを目指し、生命・平和・環境等を大人と子どもが共に学ぶ広場を運営する。

- 後援予定 ユネスコ国内委員会

- 活動内容

10ヶ所で実施予定

<国内>

地球っ子広場・仙台（宮城県）	地球っ子広場・五井（千葉県）
地球っ子広場・いすみ（千葉県）	地球っ子広場・船橋（千葉県）
地球っ子広場・自由が丘（東京都）	地球っ子広場・新潟（新潟県）
地球っ子広場・富士SUN山（山梨県）	地球っ子広場・きょう（京都府）
地球っ子広場・タカラヅカ（兵庫県）	地球っ子広場・甲陽園（兵庫県）

<海外>

ラボラトリオ ディ パーチェ
Laboratorio di Pace（イタリア）

エスパス
ESPACE KIDS（フランス）

Earth Kids Space Unite（アメリカ）

Earth Kids Space（ケニア）

中国とウガンダで開設希望

コーディネーター研修会 2020年3月開催（場所未定）

- 地球っ子キャラバン

地球っ子広場の発展的な形で、被災地の子どもたちをサポートする教室開催

- マニュアル・教材の有効活用

これまでの実践を体系化して作成したマニュアル、モデル教材（日英）を活用して、国内外での更なる展開を図る

7. ユース社会起業家育成プログラム

国連が掲げる持続可能な開発目標（SDGs）の推進ならびにユネスコ・持続可能な開発のための教育（ESD）に関するグローバル・アクション・プログラム推進事業として実施。

- 内 容：持続可能な開発目標（SDGs）の達成に資するアイデアやプロジェクトを募り、若者の社会起業を奨励・育成するオンライン・キャンパスおよびオンライン・コンペティション
- 主 催：五井平和財団、スティブタング・アントレプレナーシップ財団、デジタル・エキスパート・ユナイテッド
- 後援（予定）：国連平和大学、国連グローバル・コンパクト PRME (Principles for Responsible Management Education) プログラム、国際労働機関 SIYB (Start and Improve Your Business) プログラム、地球憲章インターナショナル (Earth Charter)
- 応募資格：15～35歳
- 応募部門：ベスト・アイデア部門、ベスト・プロジェクト部門
- 応募締切：6月30日
- 各 賞：最優秀賞、2位、3位、ピープルズ・チョイス賞／各部門1点
- 授 賞 式：10月開催予定のアントレプレナー・サミット・ベルリンにおいて実施
- 選考方法：ウェブサイト上で最多得票を集めたエントリーにピープルズ・チョイス賞を授与
得票数により、各部門上位10位までのファイナリストの中から選考委員が最優秀賞、2位、3位を選考
- 選考委員：ギンター・ファルティン（ベルリン自由大学教授）
（予 定） 西園寺裕夫（五井平和財団理事長）
クリスティーナ・ラカヨ（Earth Charter コーディネーター）
エディオラ・パショラリ（World Assembly of Youth 事務局長）
ジュリ・サイトウ（UNESCO ESD Section）
ラヴィ・チョウンドリー（シーネクスト・コンサルティング&インベストメント会長）他

8. ユネスコ活動・ESD（持続可能な開発のための教育）

- ① 持続可能な開発のための教育(ESD)に関するグローバル・アクション・プログラム(GAP)
 - GAP パートナー・ネットワーク会合参加

- ② 日本/ユネスコパートナーシップ事業 [文部科学省委託（申請予定）]
 - 第6回 ESD 日本ユース・コンファレンス
共 催：文部科学省、日本ユネスコ国内委員会
会 場：未定
日 程：2019年10月開催予定 1泊2日
参加者：日本国内でESDを実践する18～35歳の若者、約50名
目 的：ユース世代の意見交換、情報共有、ユース世代の意見交換のためのプラットフォーム構築ならびにESDリーダーの育成

 - ESD 日本ユース・プラットフォーム会合（フォローアップ会合）
2020年1月下旬ないしは2月中旬予定

- ③ ユネスコスクール支援
千葉県立市川昂高等学校「開かれた学校づくり委員会」に委員として参加等
国際ユース作文コンテスト受賞者との国際交流支援

9. 青少年育成に係る若手指導者養成奨学金事業（申請中）

本奨学金制度は、青少年が心身ともに健全で、持てる能力や創造性を発揮し、いきいきと尊厳をもって活躍できる豊かな社会づくりを目的に、スポーツ・芸術の分野において青少年育成に係る指導者を目指す将来有望な若者に対して、必要な知識や能力を身につける研さん活動への経済的援助を行うことを目的とする。

- 応募資格：①日本国籍（永住権可）を有する者で2019年7月31日現在40歳以下の者
②大学の教員職（非常勤講師を除く）に就いていない者
③スポーツ・芸術等の分野で活動実績を有するもので青少年育成に意欲旺盛である者
- 採用予定数：①特別奨学生（主に海外において指導者としての研さん活動を行う者） 1名
②一般奨学生（主に国内において指導者としての研さん活動を行う者） 5名以内
- 応募期限：2019年7月31日まで
- 選考方法：当財団の選考委員会が行い、理事長が選考を決定する。
 - ① 1次選考（書類）：2019年8月予定
 - ② 2次選考（面接）：2019年9月予定

以上